

日にあらたに



札幌市立日章中学校
学校便り 第 504 号
令和 8 年 3 月 25 日発行
TEL831-6196 FAX831-2754
<https://www.nissho-j.sapporo-c.ed.jp>

令和 7 年度 修了式 学校長より

札幌市立日章中学校
校長 尾崎 英弥

13日の卒業式では、全校で歌った「大地讃頌」の歌声が耳に残る卒業式でしたが、3年生は感謝の思いと希望を胸に、日章中学校を巣立っていきました。1, 2年生は、3年生に対して感謝の気持ちが十分に伝わった卒業式でした。

さて、4月からの本校の主役はあなた方になり、入学式では145名の新入生を迎える予定です。新入生からは尊敬される存在となり、仲間と共に励まし合い、認め合い、高め合う集団となってください。

この1年間を振り返って、誰かのために小さな勇気を出せた瞬間はありましたか？挨拶を返した、落ちていたごみを拾った、困っている友達に声をかけた。そんな些細なことで構いません。世の中を変えるのは、特別なヒーローではなく、皆さんのような小さな優しさの積み重ねです。

修了式という今日は、自分自身のその「小さな良さ」を褒めてあげる日にしてください。自分を大切にできる人は、他人にも大切にできます。そんな温かい雰囲気のある学校を、4月からも共に作っていきましょう。

最後になりますが、それぞれの学年でクラス替え、2年生は最終学年となって4月を迎えます。

不安はあると思いますが、先生方は全力で皆さんと向き合い、支えていく決意をしております。

よい、学校・学年を作り上げていきましょう。



「友だちを大切にしようプロジェクト」「学校づくりプロジェクト」など、生徒会を中心に学校として子どもの主体的な活動を推進していることが認められ、日章中学校が文部科学省より表彰されました。

◇ 代表生徒より 1 年を振り返って

『 1 年間を振り返って 』

生徒会代表

私は後期からの半年間、会計長としての活動を続けてきました。行事やこれまでの活動を振り返ると、自分の力不足を感じる場面が多くあり、特に周りを見て自分から行動することの難しさを感じました。思うようにいかないことや、改善できた点も多く、反省することが多かったです。しかし、反省をする度に、自分には何が足りなかったかを考えるようにしてきました。そこで、責任を持って行動することや、周りとの協力することの大切さを学ぶことができ、前よりも少しずつ積極的に活動することができるようになったと思います。今でも自ら行動することに不安はありますが、この一年間で得た経験が無駄にしないで、これからの学校生活でも成長することができるように、努力を続けていきたいと思っています。また、全校生徒の皆さんも不安を感じることもあっても大丈夫なので自ら考え、行動することを大切にし、それぞれの目標に向かって一歩ずつ進んでいきましょう。日々の小さな積み重ねが自分の成長に繋がっていくと思います。

『 2025 イイじゃん 』

1年5組 代表生徒

みなさんは1年を振り返ってどのような1年だったでしょうか。私が1年を振り返って印象に残ったことは3つあります。まず、印象に残ったこと1つ目は、3回行われた定期テストです。小学校の時と比べて、勉強のリズムが変わりました。そのため、一回目の定期テストでは、勉強の仕方や時間の使い方があやふやで、思い通りの結果ではありませんでした。しかし、定期テストの回数を重ねていくにつれて、時間を30分ずつに区切り、自分にあった勉強法を見つけたり、計画的に勉強に取り組めたと思います。次に印象に残ったこと2つ目は、バレーボールです。私はバレーボールクラブに通い、初めての人と関わったり、初めてのことを経験して、コミュニケーション能力を高めることができ、日常生活を豊かにすることができました。また、合宿などバレーボールを長くプレイしていくにつれて、上手な人の特徴に注目して、自主的に技術を向上させる事ができました。最後に印象に残ったこと3つ目は、集会などの拡大学年協の活動や学校祭などの行事です。自分たちで進めることが多かったため、不安な部分もありましたが、力を合わせよい集会を行うことができました。とても楽しく活動でき、良かったです。

この一年を振り返って、良かった点を引き続き来年度に活かしていきたいと思っています。さらに、バレーボールと勉強を両立し、日常生活を規則正しく過ごしていきます。みなさんは来年度どのように過ごしていきますか？

3月2日(月)に子ども運営委員会が行われました。生徒会執行部の生徒たちは、市内小中学校80校以上から寄せられた「自治的な活動取り組み報告書」の中から、表彰校を選定しました。運営委員会の一員として、全市への発表やサミットの司会など、多くの活躍が見られた1年間でした。



『二年生で頑張ったこと、成長したこと、三年生で頑張りたいこと』

2年5組 代表生徒

僕は、2年生で頑張ったこと、成長したことが、二つあります。一つ目は勉強です。1年生では苦手だった教科を2年生では重点的にやることで、テストの点数もアップし、提出物の評価も良くなりました。そして、定期テストの五教科の合計点も2年生になってから大きく上がりました。第一回、第二回、第三回と、徐々に点数が上がっていきました。ですが、教科別で見ると、第二回は良かったけど、第三回では点数が下がってしまったというものもあったので、三年生では教科ごとに自分にあった勉強法を見つけ、安定して点数を取れるように頑張っていきたいです。

二つ目はクラブチームでの活動です。僕はクラブチームで野球をしています。チームでの活動は主に土日であり、平日は各自で自主練習を行っています。2年生になってからは一年生のときよりも平日の練習の時間を多くしました。しかし、すぐには結果が出ず、最初は練習が面倒くさくなったり、嫌になったりしたときも多くありました。ですが、そうした気持ちに負けず、ほぼ毎日練習をした結果、秋の新人戦ではいい結果を残すことができました。努力は報われるんだなと実感しました。この経験を自信にして、三年生になってからもコツコツと練習を続け、試合で良い結果を残せるように頑張りたいです。

来年は受験もあり、1、2年生のことも復習しないといけないので、勉強の量を特に意識して、毎日勉強していきたいと思います。

◇ 総合的な学習 全校発表を終えて

『 職業調べから学んだこと 』

1年2組 代表生徒

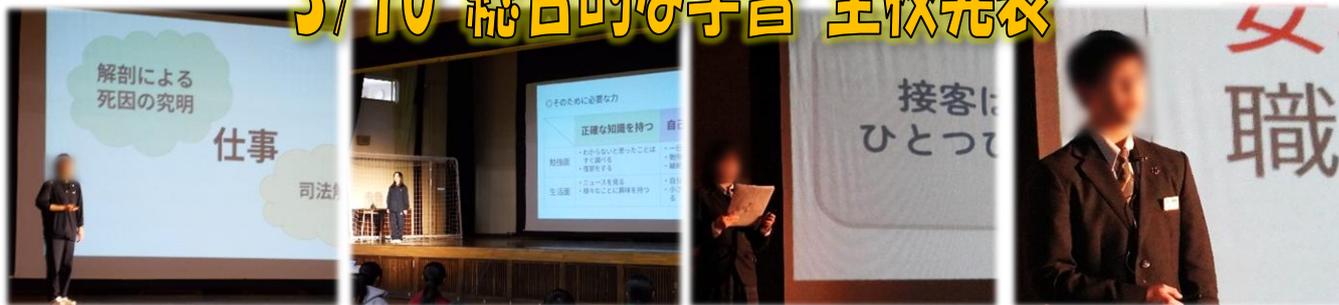
私は職業調べをする中で、正しい情報と誤った情報があることに気がきました。一つのサイトだけではなく、複数のサイトを見比べることで正確な情報を得られることを知りました。また、様々な人の発表を聞くことで自分の知らなかった職業について学ぶことができ、人にわかりやすく伝えるには見やすいスライドや聞き取りやすい話し方が必要だと思いました。そして、全校発表では練習の成果をだすことができ、ハプニングにも臨機応変に対応することができました。

『 全校発表を終えて 』

2年1組 代表生徒

私は、総合的な学習全校発表を終えて、多くの人の中で自分の考えや学びを伝えることの難しさと大切さを実感することができました。最初は緊張もありましたが、学級発表、学年発表と経験を重ねる中で、話し方やスライドの見せ方についてさまざまな工夫や改善を行ってきました。全校生徒の前で発表するという機会はめったにないため、とても貴重な経験となり、自信にもつながりました。今回の経験を、今後の学校生活や将来に活かしていきたいと思います。

3/10 総合的な学習 全校発表



自主的な活動『学校づくりプロジェクト』



今回のテーマは「委員バッジ」。学級で話し合った内容を全校で共有し、さらに考えを深めました。

お世話になりました

＜転出＞

【主幹教諭 英語科】	鳴海 敦一 先生	八軒中学校へ
【国語科】	森本 綾子 先生	屯田北中学校へ
【保健体育科】	佐々木 健次 先生	北白石中学校へ
【英語科】	今野 洋介 先生	東白石中学校へ
【難聴学級】	菅原 玲奈 先生	中央中学校へ
【特別支援学級】	早坂 東子 先生	伏見中学校へ
【特別支援学級】	松岡 兼進 先生	平岡緑中学校へ
【通級指導学級】	松島 瑞枝 先生	北翔支援学校(中学部)へ
【数学科】	達口 聡美 先生	八条中学校へ
【校務助手】	佐藤 るみ子 さん	月寒中学校へ
【用務員】	竹田 明 さん	上野幌中学校へ
【SC】	上島 忍 先生	北辰中学校へ

＜役職定年＞

【校長】	尾崎 英弥 先生	<転出> 手稲中学校へ
------	----------	-------------

＜ご退職＞

【英語科】	富原 愛貴 先生	
-------	----------	--

= お知らせ =

春休み中の学校電話は、平日 8:15 ~ 16:45につながります。なお、部活動の欠席連絡等はすぐーるにてお願いします。